

施政方針と 予算(概要版)

太華山 山頂からの市街地



はじめに

今年、待ちに待った東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

オリンピックの誘致で話題となった「おもてなし」の心は、お客様や大切な人への気配り・心配りをする、世界に誇れる日本文化の一つと言えます。

私は、市民に寄り添い、市民の声を聞き、市民と分かり合える市政の実現をお約束しています。「市民に寄り添う」という言葉にも、「おもてなしの心」と同じく、相手への思いやりの気持ちを込めています。相手を慮り、心を通わすことのできる温かいまちづくりの実現に努力してまいりたいと思います。

さて、昨年本市では、ラグビーワールドカップでのパブリックビューイング、徳山あちこちマルシェ、年末のツリー祭りなどが大きなにぎわいを見せ、ポーターレース徳山で開催した賞金女王決定戦でも、2万人を超える方が来場されました。

本市のポテンシャルの高さと、市民

の活気を改めて感じるとともに、今年はこの活気やにぎわいを市内全域に広げ、活力溢れるまちを築いていきたいと考えています。

一方、本市の財政状況は、財政調整基金が大きく減少し、少子高齢化による扶助費や公共施設の老朽化に伴う修繕費の増加、公債費の増高等により、非常に厳しい状況が続いていることが予想されます。

しかしながら、こうした状況にあっても、市民のニーズを適切に把握し、真に必要な行政サービスは提供していかなくてはなりません。周南市の将来を見据え、強い信念を持って、選択と集中の視点に立った行財政改革を確実に進めてまいります。

また、このたびの令和2年度当初予算案は、私にとりまして、初の本格予算となります。「第2次まちづくり総合計画後期基本計画」の初年度という状況を踏まえ、少子高齢化、人口減少社会の対応を最優先の課題として捉えながら、これまでのハード事業からソフト事業を重視した政策への転換を図るとともに、地域の持続可能性を追求し、市民目線に立った施策を展開してまいります。

私は、市民一人ひとりがこのまちへの誇りと愛着を育み、自らの幸せを願い、行動することでシビックプライドがますます涵養され、周南市の底力

を発揮できると信じています。心を一つにし、一体となって未来の周南市を築いていきましょう。

それでは、「第2次まちづくり総合計画後期基本計画」の10の重点推進プロジェクトに基づき、令和2年度の取り組みをご説明いたします。

みんなで子育て応援プロジェクト

組織を改め、「子ども健康部」にあんしん子育て室を設置し、相談支援の機能の強化を図ります。

不妊治療や不育症治療に要する経済的な負担を軽減するため、夫婦の所得制限を撤廃します。

がんを発症した方が将来、子どもを産み育てることに希望が持てるよう、妊よう性温存治療費の助成を新たに始めます。

多子世帯の子育てに係る経済的な負担を軽減するため、第3子以降の子どもを出産した場合に「多子世帯応援給付金」の支給を開始します。

近視や遠視などの弱視の子どもを早期に発見し、適切な時期に治療が始められるよう、新たに3歳児健康診査に屈折異常検査機器を導入します。

令和2年4月に、市内公立施設では初めての幼保連携型認定こども園

「周南市立鹿野こども園」を開園し、適切な幼児教育・保育環境をしっかりと確保し、多様化する保護者のニーズに柔軟に対応します。

病児保育事業を、現在実施している3施設に加え、利用ニーズの増加が見込まれる徳山東部地区に新設します。



3歳児健康診査の様子

輝く子ども育成プロジェクト

学校・家庭・地域が連携・協働する「コミュニティ・スクール」により、「地域」ともにある学校づくり」に積極的に取り組めます。

「子どもの貧困問題」に対応するため、子どもの居場所づくりを行う団体などに対し、その開設などにかかる新たな助成を開始します。

また、ひとり親家庭で、家庭での学習が困難な中学生を対象に家庭教師の派遣や学習会などを実施します。

経年劣化に伴う損傷が著しい学

校施設の外壁や屋上防水の改善など「学校施設等長寿命化計画」に基づいた改修を計画的に進めます。また、8月中の完成をめどに小学校普通教室への空調設備を整備します。

小・中学校の全ての普通教室に大型ディスプレイを整備し、ICTを活用した教育の質の向上を図るとともに、外国語指導助手を増員し、国際理解を深め、グローバルな視点を持った人材の育成に努めます。

学校給食費管理システムを導入し、教員の業務の負担軽減と保護者の利便性向上を図るとともに、学校業務支援員の増員や学校閉庁時の対応として留守番電話を設置し、働き方改革の加速を図ります。

市民を守る防災・減災プロジェクト

災害による被害を最小限に抑え、迅速な復旧・復興が可能な「災害に強い周南市」を推し進めるため、「国土強靱化地域計画」の策定に取り組みとともに、「防災危機管理監」を新たに配置し、市の危機管理体制を強化します。

防災情報収集伝達システムを最大限に活用し、豪雨災害や台風などの際には、情報を伝えるだけでなく双方向のやりとりや監視・見守りを行

い、さらなる安心安全につながります。

県や関係機関、防災アドバイザーと連携し、率先避難モデル事業を市内全地区に水平展開し、市民が自発的に適切な避難行動を取れる体制づくりを推進することで、災害からの「逃げ遅れゼロ」をめざします。

西光寺川、末武川の浸水想定が見直されることに伴い、洪水ハザードマップを改定し、迅速かつ的確な避難行動が取れるよう、対象河川の流域に居住する方に配布します。また、河川の氾濫などによる浸水情報を市民の皆さまに分かりやすく発信するため、浸水被害のシミュレーション動画を作成し、インターネット上で公開します。

老朽化した西消防署を建て替え、本市西部地区の消防拠点施設を整備します。また、聴覚や言語機能に障害のある人がスマートフォンなどを活用して119番通報を行える「Net 119緊急通報システム」を導入し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

安心安全実感プロジェクト

高規格救急自動車の更新および救急救命士や指導救命士の養成など各種研修・教育を実施することで、さらに質の高い救急業務に努めます。

施設の老朽化が著しい休日夜間急病診療所の建て替えを進め、令和3

年度の運用開始をめざします。

新南陽市民病院は、西部地域の核心的医療機関であり、市民に信頼される「地域病院」として存続を図るとともに、医療の充実や経営改善に向け、引き続き取り組みを進めます。

野犬対策は、引き続き県や警察などと緊密に連携を図り、むやみな餌やりの禁止、臭が行う捕獲への協力、周南緑地での草刈りを実施することにも「しゅうなん通報アプリ」に野犬情報を追加し、市民の皆さまのご協力をいただきながら「野犬被害ゼロ」の実現に向けて対策を進めます。

「市民の声を聞く課」を新設し、新たな広聴システムの効果的な推進を図ります。「まちづくり提言制度」の拡充や、インターネットを活用した幅広い広聴活動にも取り組み、市民に寄り添い、市民の声をしっかりと聞く取り組みを積極的に進めます。

「第3次周南市健康づくり計画」に基づき、健康寿命の延伸に取り組みとともに、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいの要素が相互に連携し、地域で支え合う「地域包括ケアシステム」に継続して取り組みます。

住みたい・訪れたいまち創造プロジェクト

「日常をときほぐす観光」に取り組めます。「日常をときほぐす観光」は、

地域にある田園風景や人々の暮らしなどを地域の宝物として捉え、そこに暮らす方々に誇りや愛着を持っていただき、観光という視点での地域づくりが、地域活性化につながることを期待するものです。この概念や取り組みを発信することにも、地域資源の掘り起こしやニーズ調査などを行います。

新たなシティプロモーションにも取り組めます。市出身者や本市に縁やゆかりのある人たちなどこのつながりの創出・拡大を図り、関係人口100万人ネットワークによる、本市の応援団をつくり、まちづくりの知恵と力になっていただく取り組みを進めます。また、認知度向上や本市への愛着や誇りを育む取り組みも、市民の皆さまのアイデアやご意見をお伺いしながら推進します。

徳山大学の公立化の検討については、外部有識者会議を開催するとともに、市議会や市民の皆さまのご意見を踏まえながら、引き続き進めてまいります。

周南緑地につきましては、P.F.F.の手法による陸上競技場などの整備や管理運営などについて検討を開始します。また、「周南緑地基本計画」の見直しや中央緑地のエントランス整備を行います。

徳山動物園のリニューアル事業につきましても、令和3年度のオープン

をめざしてマレーグマやコツメカワウソなどを展示するアジアの熱帯雨林ゾーンの整備を着実に進めます。

郷土を学び文化を尊重するまちづくりにつきましては、美術博物館などにおいて林忠彦やまご・みちおなど本市にゆかりのある作家の紹介に引き続き取り組むとともに、郷土の偉人である児玉源太郎の功績を広く伝えます。



中須地区の棚田

暮らしやすいコンパクトなまちづくり推進プロジェクト

中山間地域をはじめ市街地縁辺部において、路線バスの減便や廃止によって交通不便地域が拡大しているため、タクシーを活用するなど新たな移動手段の実証や効果的な手法についての検討を進めます。

「周南市立地適正化計画」に基づき、居住や都市機能を集積し、地域と拠点を公共交通でつなぐ「コンパクト

トプラス・ネットワーク」の取り組みを進めます。

今後の都市像を示す「周南市都市計画マスタープラン」を見直し、あわせて、御幸通、岐山通の良好な景観づくりや市街地での適正な土地利用を図ります。

交通結節点であるJR新南陽駅やJR柳ヶ浜駅の環境整備を着実に進めることで、利便性の向上につなげます。交通インフラについては、富田地区の中溝線など、重要な幹線道路の整備を計画的に進めます。

徳山駅前地区市街地再開発事業については「第2期中心市街地活性化基本計画」に基づいて、引き続き支援しつつ、公民連携して魅力ある中心市街地の再生充実を図ります。

持続可能な中山間地域づくりプロジェクト

中須地区や長穂地区などにおいて、新たなコミュニティ交通の導入に向けた検討協議を引き続き地域の皆さまと一緒に取り組みます。

須々万支所・市民センターを徳山北部地域の拠点として整備するため、地域の皆さまの意見を取り入れながら基本計画の策定に着手します。

それぞれの特性を生かした魅力ある地域づくりを進めるため、地域の夢プランの策定やその実現に向けた

取り組みを引き続き支援します。

市民活動支援センターにおいては、コミュニティビジネスや新しい公共を担う団体などの育成支援に取り組めます。

地域経済を支える産業力強化プロジェクト

徳山下松港の、国際競争力、産業力強化のため、港湾計画のもと早期の整備促進が図られるよう、引き続き国や県と連携して取り組みます。事業所等設置奨励補助制度などの

支援制度を活用し、企業の設備投資や雇用創出の動きをさらに後押しするとともに、生産設備の高度化や共同物流など、次世代型コンビナートの構築に向けた取り組みを支援します。

林業の活性化とエネルギーの地産地消に向け、関係機関と連携し、全国初の早生樹によるバイオマス材の生産、利活用に取り組みます。

国内有数の「水素先進都市」として、普及啓発活動を進めるとともに、引き続き、国や県と連携した先進的な水素の実証事業や、水素関連産業の創出に向けた中小企業等への支援を行います。

若者や女性の就職希望が多い事業の誘致による新たな雇用の場の創出や、商工会議所等の関係機関と連携した創業支援、女性雇用マッチング

事業などに取り組み、若者や女性がビジネスに挑戦し、夢を実現できる環境を整えます。

地域産品のブランド力強化プロジェクト

「第3次周南市地産地消促進計画」のもと、本市の農林水産物を活用した「6次産業化」の取り組みを支援するとともに、地域産品が持つさまざまな要素を生かして付加価値を高め、地域産品の市内外への効果的なアピールと消費拡大を図るため、そのブランド力を強化します。また、道の駅「ソレーネ周南」を地産地消の推進拠点と位置付け、地域産品の活用の促進と、市内直売所などと連携し、地域経済の活性化を図ります。

農業の支援につきましては、新規就農者パッケージ支援事業などにより、新たな担い手の確保と育成を図るとともに、持続可能な農業をめざし、長穂地区の圃場整備などの計画的な農業基盤整備による営農の省力化や優良農地の集積・集約などを、国や県の補助を活用しながら進めます。

水産業の担い手を確保するため、新規漁業就業者確保および定着促進の支援を行うとともに、水産資源の安定確保や漁獲量の増加

をめざし、トラフグやキジハタなどの稚魚の放流や産卵用たこつぼの設置を行うことで、人材・資源の両面からのサポートを引き続き行います。

安定した行財政運営プロジェクト

「第4次周南市行財政改革大綱」に基づく行財政改革をスタートさせます。本市の有する行政資源「ひと・ものかね情報」を市民にとって真に有益で効果的な事業に集中・最適配分し、持続可能な行政サービスの提供と強固な財政基盤の確立をめざします。

「ひと」については、横断的かつ機動性の高い業務執行体制の構築や職員数の適正化、人件費の抑制を図ります。「もの」については、「市有財産のマネジメントの推進」を掲げ、公共施設の老朽化問題に引き続き対応します。「かね」については、「健全で強固な財政基盤の確立」を図り、安定した自主財源の確保に努めます。

「情報」については、AIなどの先進的なICTを有効に活用した「スマート自治体」への転換を進めます。

プロジェクトには属さない重要な施策である主な取り組み

「市民一人ひとりの人権が尊重されるまち」の実現をめざし、総合的か

つ効果的な人権教育・啓発に引き続き取り組みます。

耐震性の不足と老朽化のため、架け替え工事を予定している古川跨線橋は、住民や企業との十分な調整を行いながら、渋滞対策や安全対策に万全を期すとともに、鉄道事業者などとの連携により、一日も早い橋の完成をめざします。

超スマート社会「ソサイエティ5.0」に転換する動きが活性化する中、市民の利便性や快適性の向上と安心安全なまち「スマートシティ」の実現に向けて、本市にふさわしいスマートシティ構想を検討します。また、全庁的なドローンの運用を検討するため、橋りょう点検などにおいて実証的に活用し、安心安全の確保や行政サービスの向上などに生かします。

コンプライアンスに関する対応につきましても、庁内プロジェクトチームにおける検討結果と、入札監視委員会から頂いた再発防止策を入札・契約業務に生かしながら、二度とこのような事態が起らないよう、職員一丸となつて適正な契約事務を遂行し、市民の皆さまの信頼回復に努めます。

おわりに

今から56年前、国際的地位をめざ

して開催された東京オリンピックは、当時の国民の自信と誇りを回復させる絶好の機会となりました。

2020年も、グローバル社会のなかで躍動する日本の姿が、東京オリンピック・パブリック・ピックを通して描き出され、国民の心と日本の歴史に記憶される年になると思われます。

こうした中、周南市は他の地方と同様に、人口減少社会の到来が市政全般に大きな影響を及ぼし、これまでの発想や手法を大きく見直さざるを得ない状況にあります。

この難局を乗り切るためには、市民の皆さまに寄り添い、心を一つにしながら、これまでの政策の手法や展開の在り方を思い切つて見直し、まちづくりの新たな力を生み出していくことが何よりも必要と思われま

す。2020年が周南市政におきまして、第2次周南市まちづくり総合計画で掲げた「人・自然・産業」が織りなす未来につなげる「安心自立都市 周南」といつ将来の都市像をめざした取り組みが開始される「記憶される年」となりますよう努めてまいります。ご理解と協力を賜りますようお願いいたします。

令和2年2月26日

周南市長 藤井律子

予算の概要

予算編成の基本方針

令和2年度予算編成は、「周南市まちづくり総合計画後期基本計画」に基づき、この中で掲げる10の主要プロジェクトを、着実に推進していくための予算に努めました。

これまでのハード事業から、ソフト事業を重視した政策への転換を図るとともに、地域の持続可能性を追求し、市民目線に立った施策を展開していきます。

予算の特徴

一般会計の予算は、前年度に比べ2700万円、0.1パーセント減の630億8100万円となり、過去10年間で最も低い予算規模となりました。

歳入は、法人市民税などの減により、市税全体で約4億9700万円の減となっています。一方、地方交付税は、普通交付税と特別交付税を合わせて前年度から5.7パーセント増の63億円を計上しています。これは、普通交付税の算定において、幼児教育・保育の無償化および高等教育

の無償化などによる、基準財政需要額の増によるものです。

歳出は、厳しい財政状況ではあります。将来に向けて持続可能な財政運営を行うべく、念頭に、少子高齢化、人口減少社会の対応を最優先課題と捉え、子ども子育て関連、市民の安心安全などに関する事業を中心に、重点的に予算配分を行いました。



会計別予算

区分	予算額	構成比	増減率
一般会計	630億8,100万円	38.7%	△ 0.1%
特別会計	312億2,392万円	19.2%	2.1%
国民健康保険	158億2,046万円	9.7%	2.4%
国民健康保険鹿野診療所	5,694万円	0.0%	△ 3.8%
後期高齢者医療	26億2,089万円	1.6%	8.2%
介護保険	124億7,989万円	7.7%	0.9%
地方卸売市場事業	1億1,650万円	0.1%	△ 12.3%
国民宿舎	8,175万円	0.1%	△ 4.9%
駐車場事業	4,749万円	0.0%	△ 6.3%
水道事業会計	59億1,064万円	3.6%	0.8%
下水道事業会計	82億3,055万円	5.1%	△ 4.7%
病院事業会計	38億4,880万円	2.4%	1.1%
介護老人保健施設事業会計	4億2,052万円	0.3%	△ 1.7%
モーターボート競走事業会計	501億2,271万円	30.8%	11.8%
合計	1,628億3,813万円	100.0%	3.6%

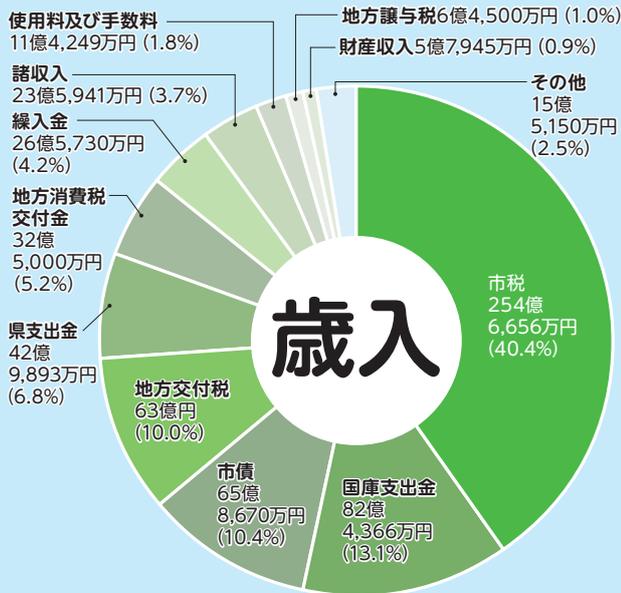
※端数処理の関係上、数値の集計が合計欄と合わない場合があります。

特別会計のポイント

- 国民健康保険は、一般被保険者療養給付費の増により、2.4%増
- 地方卸売市場事業は、地方卸売市場施設の工事請負費の減により、12.3%減
- 国民宿舎は、公債費の減に伴い、4.9%減



一般会計・歳入歳出予算 630億8,100万円

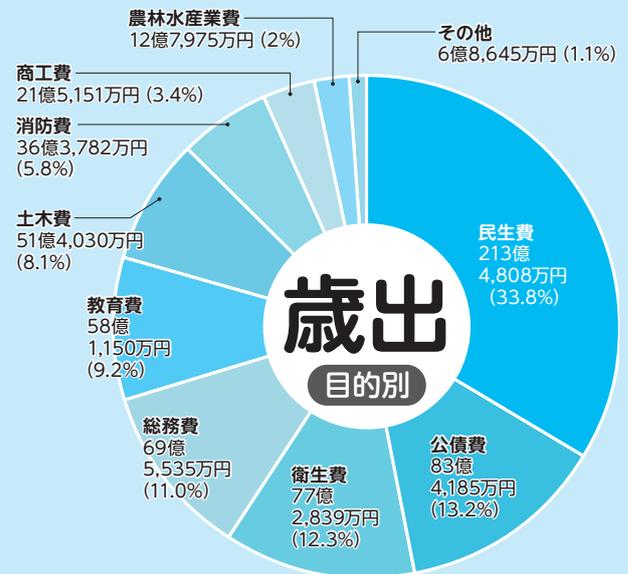


歳入のポイント

- 市税は、法人市民税の減額により、総額で1.9%減
- 地方交付税は、普通交付税と特別交付税を合わせて前年度から5.7%増
(普通交付税の算定において、幼児教育・保育の無償化および高等教育の無償化などによる基準財政需要額の増による)
- 財産収入は、土地売払収入などの収入見込みから、25.9%増
- 市債は、西消防署整備事業や市民センター整備事業の進捗により、5.7%増

歳出のポイント

- 総務費は、主に市民センター整備事業の進捗などによる1.6%増
- 消防費は、西消防署整備事業、消防施設整備事業などの増額により、25.6%増
- 商工費は、プレミアム付商品券事業終了による皆減などにより、18.2%減
- 土木費は、再開発推進事業や中溝線整備事業などの増額により、9.2%増
- 教育費は、(仮称)西部地区学校給食センター建設事業などの減額により、16.1%減



ことばの説明

歳入

- 市税…個人市民税、法人市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税など
- 地方交付税…地方自治体のサービス水準を一定に保つため、国税のうち、所得税、法人税、酒税などの一定割合が国から交付されるもの
- 市債…施設の建設や道路などの整備のために借り入れる資金(借入金)

歳出

- 総務費…市の全般的な管理事務や共通的に必要な経費
- 民生費…子どもや高齢者、障害者福祉などに必要な経費
- 衛生費…ごみ処理や保健衛生、環境保全などに必要な経費
- 公債費…市が借り入れた市債(借入金)返済のための経費

みんなで子育て応援プロジェクト

母子健康診査事業



〔眼科屈折異常検査の様子〕

予算額 **1億5,495万円**

妊産婦や乳幼児に対し、疾病などの早期発見や、健康の保持・増進を図るため、健康診査を実施します。

主な内容

- 妊産婦、乳幼児健康診査の実施
- 3歳児健康診査時に眼科屈折異常検査を導入

財源内訳

国や県の負担額	391万円
市の負担額	1億4,904万円
その他	200万円

問合せ あんしん子育て室
☎0834-22-8550

不妊治療費等助成事業



予算額 **1,109万円**

不妊治療費および不育症治療費の助成にかかる所得制限を撤廃します。また、がん患者の妊よう性温存治療にかかる費用の助成を開始します。

主な内容

- 不妊治療費助成、不育症治療費助成
- がん患者の妊よう性温存治療費助成

財源内訳

国や県の負担額	267万円
市の負担額	842万円

問合せ あんしん子育て室
☎0834-22-8550

子ども家庭総合支援拠点事業



予算額 **2,342万円**

こども・子育て相談センターを設置し、妊娠期から18歳までの子どもと、子育て家庭に対する継続的・総合的な支援を行います。

主な内容

- 専用ダイヤルでの相談
- 心理士などによる家庭訪問
- 児童虐待などの未然防止と早期対応

財源内訳

国や県の負担額	1,208万円
市の負担額	1,134万円

問合せ あんしん子育て室
☎0834-22-8452

保育所再編整備事業



予算額 **1億3,675万円**

鹿野幼稚園と鹿野保育園を統合し、公立初の幼保連携型認定こども園である鹿野こども園を整備します。

主な内容

- 鹿野幼稚園園舎の整備

財源内訳

市の負担額	1億3,475万円
(うち借入金)	1億3,340万円)
その他	200万円

問合せ 次世代政策課
☎0834-22-8207

病児保育事業



予算額 **9,262万円**

病気の乳幼児や小学生の一時的な保育を行う病児保育施設を、既存の3カ所に加え徳山東部地区に1カ所新設します。

主な内容

- 病児保育の実施
- 新規施設設置事業者に対し、施設整備費用の一部を補助

財源内訳

国や県の負担額	6,127万円
市の負担額	1,835万円
その他	1,300万円

問合せ こども支援課
☎0834-22-8455

多子世帯子育て応援事業



予算額 **2,000万円**

多子世帯の子育てにかかる経済的な負担を軽減し、安心して子育てができるよう、多子世帯応援給付金の支給を開始します。

主な内容

- 第3子以降の出産1人につき10万円分の市内共通商品券を交付

財源内訳

その他	2,000万円
-----	---------

問合せ こども支援課
☎0834-22-8460

輝く子ども育成プロジェクト

子どもの明るい未来サポート事業



予算額 **949万円**

家庭・学校・地域などと連携して、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける地域社会の実現をめざします。

主な内容

- ひとり親家庭の中学生への家庭教師の派遣
- 子どもの居場所づくりの運営団体への助成

財源内訳

国や県の負担額	564万円
市の負担額	185万円
その他	200万円

問合せ 次世代政策課
☎0834-22-8827

学校ICT環境推進事業



予算額 **1億9,593万円**

ICT(情報通信技術)教育環境の向上のため、大型ディスプレイを増設し、学力の向上を図ります。

主な内容

- 大型ディスプレイの導入(小・中学校の全ての普通教室)

財源内訳

市の負担額	7,593万円
その他	1億2,000万円

問合せ 学校教育課
☎0834-22-8543

小学校普通教室空調設備整備事業



予算額 **7億7,917万円**

安心して快適に学べる教育環境確保のため、小学校普通教室に空調設備を整備します。

主な内容

- 空調設備の整備
- 設備の維持管理及び事業のモニタリング

財源内訳

国や県の負担額	1億7,418万円
市の負担額	4億8,499万円
(うち借入金)	4億8,190万円)
その他	1億2,000万円

問合せ 教育政策課
☎0834-22-8533

コミュニティ・スクール事業



予算額 **434万円**

学校・家庭・地域が連携・協働して実践する、地域とともにある学校づくりを推進します。

主な内容

- コミュニティ・スクール交付金
- コミュニティ・スクールアドバイザーの配置

財源内訳

市の負担額	434万円
-------	-------

問合せ 学校教育課
☎0834-22-8543

英語教育推進事業



予算額 **6,768万円**

英語教育の充実を図り、グローバルな視点を持った人材育成を行います。

主な内容

- 外国語指導助手の配置を拡充

財源内訳

市の負担額	3,768万円
その他	3,000万円

問合せ 学校教育課
☎0834-22-8543

小・中学校改修事業



予算額 **1億3,845万円**

安心して快適に学べる教育環境確保のため、大規模改修や必要な施設整備を実施します。

主な内容

- フェンスなどの改修
- 屋上防水・外壁改修

財源内訳

国や県の負担額	2,201万円
市の負担額	9,044万円
(うち借入金)	8,950万円)
その他	2,600万円

問合せ 教育政策課
☎0834-22-8533

市民を守る防災・減災プロジェクト

通信指令強化充実事業



予算額 **2,726万円**

聴覚などに障害のある人が、スマートフォンなどで画面上のボタン操作や文字入力により、119番通報ができるシステムを導入します。

主な内容

- Net119緊急通報システムの導入
- 多重無線システムの改修設計

財源内訳

市の負担額 2,726万円
 (うち借入金 1,540万円)

問合せ 消防本部消防総務課
 ☎0834-22-8754

避難行動支援事業



予算額 **62万円**

地域における避難行動要支援者の支援、率先避難の促進により、逃げ遅れゼロの実現をめざします。

主な内容

- 率先避難促進事業の実施
- 家具転倒防止器具の設置

財源内訳

市の負担額 62万円

問合せ 防災危機管理課
 ☎0834-22-8208

防災対策費



予算額 **2,687万円**

市の防災体制の確立および地域防災力の強化と防災対策の充実を図ります。

主な内容

- 国土強靱化地域計画の策定
- 女性の視点からの防災リーフレットの作成

財源内訳

市の負担額 1,437万円
 その他 1,250万円

問合せ 防災危機管理課
 ☎0834-22-8208

自主防災組織育成事業



予算額 **272万円**

自主防災組織の活動費を一部補助し、地域組織の育成強化と地域防災力の向上を図ります。

主な内容

- 自主防災組織研修会の開催
- 自主防災組織活動支援補助金

財源内訳

市の負担額 72万円
 その他 200万円

問合せ 防災危機管理課
 ☎0834-22-8208

消防団機械器具強化充実事業



予算額 **3,204万円**

消防団の消防車両や資機材などを更新整備し、消防機動力の強化充実を図ります。

主な内容

- 小型動力ポンプ付積載車(渋川機庫、湯野機庫、上須野河内機庫)
- 消防用ホース(市内12機庫)

財源内訳

国や県の負担額 140万円
 市の負担額 3,064万円
 (うち借入金 2,920万円)

問合せ 消防本部消防総務課
 ☎0834-22-8754

西消防署整備事業



予算額 **9億7,911万円**

老朽化した西消防署を建て替え、西部地区の消防防災の拠点として整備します。

主な内容

- 西消防署建築主体工事
- 機械、電気、空調設備工事など

財源内訳

市の負担額 9億7,911万円
 (うち借入金 9億1,670万円)

問合せ 消防本部消防総務課
 ☎0834-22-8754

安心安全実感プロジェクト

救急業務高度化推進事業



予算額 **4,539万円**

高規格救急自動車の更新、救急救命士の養成などにより、市民の安心・安全を守ります。

主な内容

- 高規格救急自動車(中央署)
- 救急救命士・指導救命士・気管挿管認定救命士養成

財源内訳

国や県の負担額 3,283万円
市の負担額 1,256万円
(うち借入金 780万円)

問合せ 消防本部消防総務課
☎0834-22-8754

野犬等対策事業



予算額 **882万円**

野犬への餌やりの禁止や犬の遺棄・虐待を防止し、地域における安心・安全の確保を図ります。

主な内容

- 餌やり防止の車止め設置、施設など
- しゅうなん通報アプリに野犬目撃情報などの機能追加

財源内訳

国や県の負担額 1万円
市の負担額 83万円
その他 798万円

問合せ 環境政策課
☎0834-22-8322

広聴事業



予算額 **20万円**

新たな広聴活動に取り組み、市民の声を生かした、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

主な内容

- 「まちづくり提言」の拡充
- 市長と市民が直接語り合う懇談会の開催

財源内訳

市の負担額 20万円

問合せ 市民の声を聞く課
☎0834-22-8808

休日夜間急病診療所整備事業



予算額 **1億5,884万円**

休日夜間急病診療所の移設建て替えを進め、安心・安全な生活環境の整備を行います。

主な内容

- 診療所施設整備

財源内訳

市の負担額 1億5,884万円
(うち借入金 1億5,880万円)

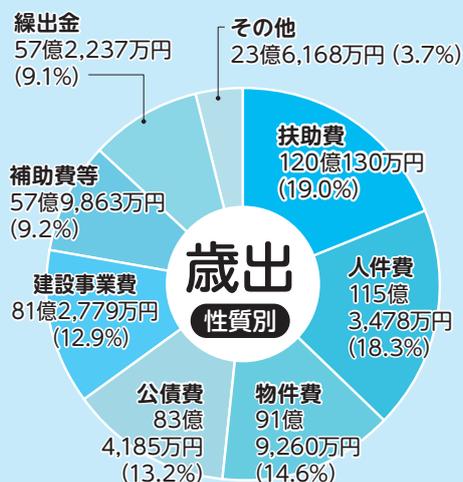
問合せ 地域医療課
☎0834-22-8377

■ 性質別内訳の状況

令和2年度一般会計歳出予算の内訳(性質別)

性質別内訳は、その経済的性質を基準として分類したものです。

このうち、人件費、扶助費、公債費は、その支出が義務付けられ任意に節減できない経費で、その割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなります。近年、少子高齢化などによる社会保障経費の増大により、扶助費が増加傾向にあります。今後とも、財政の健全化に取り組んでいきます。



※合計に合わせて、端数調整を行っているものがあります。
※()内は構成比です。

住みたい・訪れたいまち創造プロジェクト

シティプロモーション事業



予算額 **1,712万円**

本市の認知度向上とシビックプライドの醸成、関係人口の創出・拡大を図り、まちの魅力向上につなげます。

主な内容

- シティプロモーション業務委託料

財源内訳

市の負担額	712万円
その他	1,000万円

問合せ シティプロモーション課
☎0834-22-8238

徳山大学公立化検討事業



予算額 **1,385万円**

徳山大学の公立化の検討に必要な調査業務を実施します。

主な内容

- 企業などの人材ニーズの把握
- 新たな学部学科の設置や市との政策連携の検討および経営試算
- 外部有識者会議の設置運営

財源内訳

市の負担額	1,385万円
-------	---------

問合せ 企画課公立大学推進室
☎0834-22-8834

観光振興事業



予算額 **2,913万円**

地域資源を活用した観光という視点での地域づくり、地域の活性化に向けた取り組みを進めます。

主な内容

- 「日常をときほぐす観光」基礎的調査

財源内訳

市の負担額	2,506万円
その他	407万円

問合せ 観光交流課
☎0834-22-8372

東京2020オリンピック関連事業



予算額 **1,612万円**

聖火リレーの実施やブルガリア共和国男子レスリングチームの事前キャンプの実施に向けて誘致活動を行います。

主な内容

- オリンピック聖火リレーの実施
- 事前キャンプの実施に向けた誘致活動および事前キャンプの実施

財源内訳

国や県の負担額	50万円
市の負担額	1,262万円
その他	300万円

問合せ 文化スポーツ課
☎0834-22-8624

動物園リニューアル事業



予算額 **5億5,112万円**

南園のアジアの熱帯雨林ゾーンの整備を進めます。

主な内容

- マレーグマ舎などの建設工事
- 園路などの整備

財源内訳

国や県の負担額	2億5,157万円
市の負担額	2億9,955万円
(うち借入金)	2億2,640万円)

問合せ 徳山動物園
☎0834-22-8640

市民センター整備事業



予算額 **7億7,705万円**

地域づくりや生涯学習活動の拠点である市民センターについて、計画的な整備を行います。

主な内容

- 長穂支所・市民センター、遠石市民センターの整備
- 大河内市民センター外壁等改修

財源内訳

市の負担額	5億8,905万円
(うち借入金)	5億7,810万円)
その他	1億8,800万円

問合せ 地域づくり推進課
☎0834-22-8296

暮らしやすいコンパクトなまちづくり推進プロジェクト

交通結節点環境整備事業



予算額 **6,752万円**

JR駅の乗り継ぎ環境の改善により交通結節機能を強化し、公共交通利用者の利便性の向上を図ります。

主な内容

○JR櫛ヶ浜駅トイレ、スロープなどの整備工事

財源内訳

市の負担額	5,252万円
(うち借入金)	4,940万円)
その他	1,500万円

問合せ 公共交通対策課
☎0834-22-8426

徳山駅周辺整備事業



予算額 **2億580万円**

快適で利便性の高い徳山駅周辺整備を進め、中心市街地の活性化を図ります。

主な内容

○南口駅前広場整備工事

財源内訳

国や県の負担額	1億円
市の負担額	1億357万円
(うち借入金)	9,000万円)
その他	223万円

問合せ 市街地整備課
☎0834-22-8229

再開発推進事業



【公開通路のイメージ】
提供:徳山駅前地区市街地再開発組合

予算額 **9億2,140万円**

民間活力による中心市街地の更新に対する支援を行います。

主な内容

○第一種市街地再開発事業への補助および支援

財源内訳

国や県の負担額	4億6,055万円
市の負担額	4億6,085万円
(うち借入金)	4億1,440万円)

問合せ 中心市街地活性化推進課
☎0834-22-8861

勝間原団地第1幹線整備事業



予算額 **3,000万円**

歩行者が安全に通行できるよう、道路整備工事を実施します。

主な内容

○道路整備工事

財源内訳

国や県の負担額	1,595万円
市の負担額	1,405万円
(うち借入金)	1,170万円)

問合せ 道路課
☎0834-22-8276

公共交通ネットワーク形成事業



予算額 **1,171万円**

持続可能な公共交通網の確保・維持を図るため、コンパクトなまちづくりと連携したネットワークの構築を図ります。

主な内容

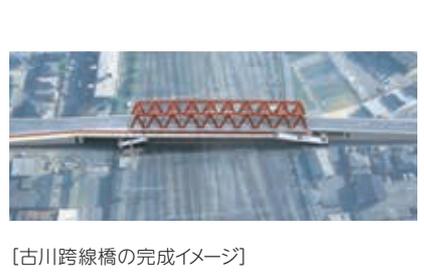
○地域公共交通網形成計画の更新
○高齢者などの移動を支える施策の検討

財源内訳

市の負担額	811万円
その他	360万円

問合せ 公共交通対策課
☎0834-22-8426

古川^{こせんきょう}跨線橋整備事業



【古川跨線橋の完成イメージ】

予算額 **3億1,912万円**

架設から55年が経過し、老朽化が著しい古川跨線橋の架け替えを行います。

主な内容

○JR敷地内施工委託
○既存橋梁の撤去工事

財源内訳

国や県の負担額	1億6,500万円
市の負担額	1億5,412万円
(うち借入金)	1億1,860万円)

問合せ 道路課橋りょう長寿命化推進室 ☎0834-22-8279

持続可能な中山間地域づくりプロジェクト

離島航路対策事業



予算額 **9,649万円**

離島航路の安定維持を図るため、大津島巡航株式会社の運営費を補助します。

主な内容

○大津島巡航株式会社の運航によって生じる欠損額の補助

財源内訳

国や県の負担額	7,005万円
市の負担額	2,643万円
その他	1万円

問合せ 公共交通対策課
☎0834-22-8426

コミュニティ交通運行事業



予算額 **4,483万円**

中山間地域の拠点を結ぶ交通ネットワークを構築し、地域の移動手段を確保します。

主な内容

○中山間地域におけるコミュニティ交通の運行

財源内訳

国や県の負担額	619万円
市の負担額	1,716万円
(うち借入金)	1,000万円)
その他	2,148万円

問合せ 公共交通対策課
☎0834-22-8426

中山間地域戦略プロジェクト事業



予算額 **920万円**

須々万地区への徳山北部地域の拠点施設整備に向けて基本計画の策定を行います。

主な内容

○徳山北部拠点施設基本計画の策定

財源内訳

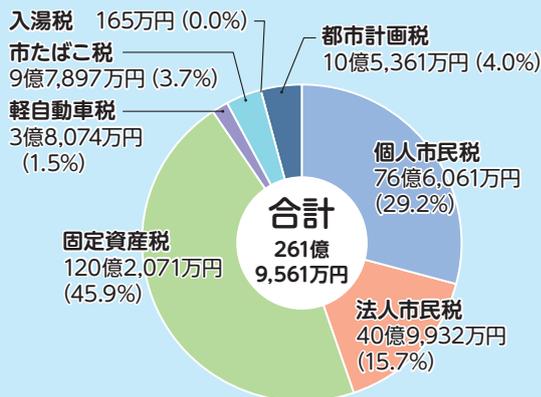
市の負担額	420万円
その他	500万円

問合せ 地域づくり推進課
☎0834-22-8336

市税収入の状況(平成30年度決算)

市税収入の内訳

市税は市民税(個人市民税及び法人市民税)や固定資産税、軽自動車税などで、歳入の根幹をなすものです。平成30年度の決算額は総額261億9,561万円で、内訳としては市民税(個人と法人の合計)が44.9%、固定資産税が45.9%とそのほとんどを占めています。



また税収全体に対して法人市民税の占める割合が大きいことが、本市の特徴です。平成30年度は企業の業績が好調であったことなどから、法人市民税は前年度に比べて約2億7,700万円の増となりました。

市税収入の決算額を総人口で割った「人口1人あたりの市税収入額」は18万3,041円で、県内13市で1位となっています。

人口1人当たりの市税収入



地域経済を支える産業力強化プロジェクト

緑山バイオマス材生産モデル事業



予算額 **8,500万円**

早生樹種による木質バイオマス材生産体制のモデル事業を実施します。

主な内容

- 林業専用道整備(緑山2号線)
- 木質バイオマス材生産用の早生樹種の植林

財源内訳

国や県の負担額	3,827万円
市の負担額	3,614万円
その他	1,059万円

問合せ 農林課
☎0834-22-8360

水素利活用推進事業



予算額 **819万円**

水素の利活用の普及啓発活動や燃料電池自動車(FCV)購入者への補助を行います。

主な内容

- 第2次水素利活用計画の策定
- イベント、社会見学受け入れなどによる水素利活用の普及啓発

財源内訳

市の負担額	499万円
その他	320万円

問合せ 商工振興課
☎0834-22-8223

港湾整備県事業負担金(現年分)



予算額 **1億2,625万円**

施設利用者や海上輸送の安全性・効率性の向上と、周南コンビナートの国際競争力の強化を図ります。

主な内容

- 港湾県事業負担金(港湾施設改良、フェリーターミナル再編整備など)

財源内訳

市の負担額	1億911万円
(うち借入金)	9,690万円)
その他	1,714万円

問合せ 河川港湾課
☎0834-22-8561

女性雇用マッチング事業



予算額 **370万円**

未就職女性の就職への意識付けや企業とのマッチングに取り組みます。

主な内容

- 女性と企業を対象とした意識啓発
- 女性の就業支援イベントなどの開催

財源内訳

国や県の負担額	185万円
市の負担額	185万円

問合せ 商工振興課
☎0834-22-8373

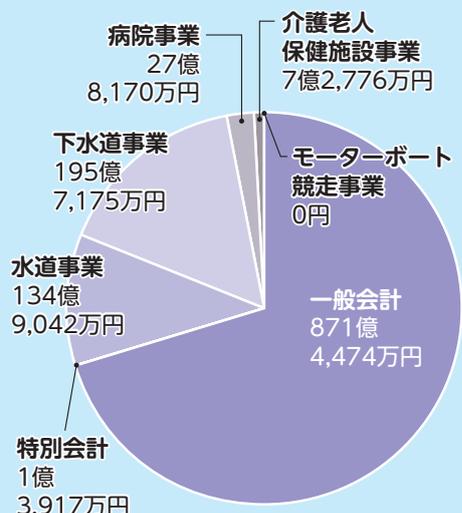
借入金(市債)の状況

令和2年度末借入金残高見込み(全会計) 1,238億5,554万円

自治体では、その年に使うお金は、同じ年度で得る収入(市税や地方交付税など)で賅わなければならないため、多額の費用を必要とする公共事業は、その年度の収入だけでは実施することが困難です。

また、公共事業の効果は長期間に及ぶことから、世代間の負担を均等にすることを目的に、借り入れをすることが認められています。

市では、借り入れに際し、返済に当たって国からの財政支援のある有利な借入金(緊急防災・減災事業債など)の選択に努めています。



※端数処理の関係上、数値の集計が合計欄と合わない場合があります。

地域産品のブランド力強化プロジェクト

新規漁業就業者定着促進事業



予算額 **1,235万円**

本市の水産業をPRし、多様な人材・確かな人材を確保することで、新規漁業就業者の定着を進めます。

主な内容

- 新規就業希望者への長期漁業技術研修・家賃補助
- 新規漁業就業者への経済的な自立化支援および漁船などのリース支援

財源内訳

国や県の負担額 595万円
市の負担額 640万円

問合せ 水産課
☎0834-22-8366

新規就農者パッケージ支援事業



予算額 **17万円**

本気で農業を始めたい若者へ支援を行い、中山間地域の主要産業である農業を主体とした移住・定住対策を推進します。

主な内容

- 新規就農者の勧誘（就農フェアなどへ出展、おためし農業体験など）

財源内訳

市の負担額 17万円

問合せ 農林課
☎0834-22-8356

地産地消促進事業



予算額 **273万円**

地域産品を市内外へ向けて情報発信し、ブランド力の強化を図ります。

主な内容

- 地産地消推進店、しゅうなんブランドの認定
- 6次産業化・地産地消推進交付金

財源内訳

市の負担額 273万円

問合せ 農林課
☎0834-22-8369

安定した行財政運営プロジェクト

学校給食管理運営事業(新南陽)



予算額 **2億3,458万円**

新南陽学校給食センターを、民間のノウハウにより運営・維持管理します。

主な内容

- PFIによる運営・維持管理
- 運営・維持管理業務のモニタリング

財源内訳

市の負担額 2億3,443万円
その他 15万円

問合せ 学校給食課
☎0834-22-8418

橋りょう長寿命化推進事業



予算額 **2億3,693万円**

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、点検および補修を実施します。

主な内容

- 橋りょう点検および補修
- 安全かつ効率的な点検の体制づくりに向け、ドローンを実証的に導入

財源内訳

国や県の負担額 1億2,925万円
市の負担額 1億768万円
(うち借入金 7,810万円)

問合せ 道路課橋りょう長寿命化推進室☎0834-22-8279

ICT利活用推進事業



予算額 **2,157万円**

行政サービスの充実や市民の利便性向上を図るため、ICTを活用したまちづくりを進めます。

主な内容

- スマートシティ構想の策定
- 自治体業務におけるICT活用の推進

財源内訳

市の負担額 2,157万円

問合せ 情報企画課
☎0834-22-8236

その他重点事業

予防接種事業



予算額 **4億9,874万円**

伝染のおそれがある疾病の発生やまん延を予防するために、定期予防接種を実施します。

主な内容

- 予防接種委託
- 風しんなどの予防接種費助成

財源内訳

国や県の負担額	1,517万円
市の負担額	4億6,357万円
その他	2,000万円

問合せ 健康づくり推進課
☎0834-22-8553

人権啓発事業



予算額 **205万円**

市民一人ひとりの人権意識を高めるため、学校や市民センターなど身近なところで講演会やイベントを開催します。

主な内容

- 人権講演会・イベントの開催
- 人権擁護委員などと連携した啓発活動

財源内訳

国や県の負担額	7万円
市の負担額	198万円

問合せ 人権推進課
☎0834-22-8456

ゆめ花博の成果を活かしたまちづくり活動支援事業



予算額 **300万円**

山口ゆめ花博で得られた成果を活用した、地域づくりや地域活性化などの事業に対する支援を行います。

主な内容

- ゆめ花博の成果を活かしたまちづくり活動支援事業補助

財源内訳

国や県の負担額	150万円
市の負担額	150万円

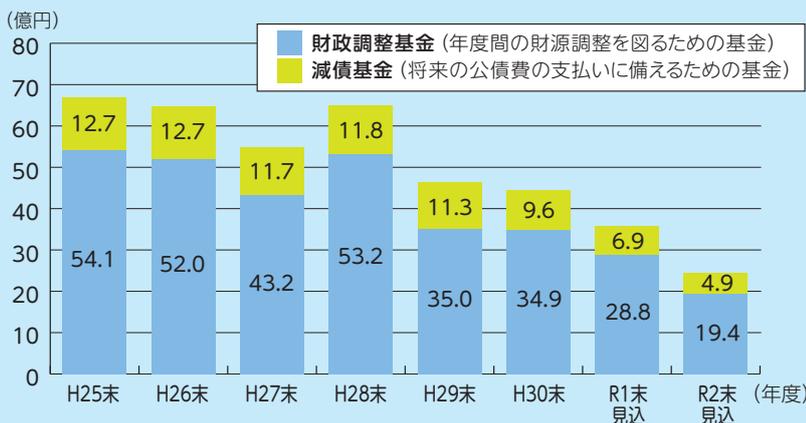
問合せ 公園花とみどり課
☎0834-22-8431

■ 基金(貯金)の推移(決算)

市の基金のうち、自由に取崩しができる基金は、財政調整基金と減債基金です。

近年、地方交付税などが減少する一方、社会保障経費や公共施設の老朽化対策に要する経費などの増大による財源不足に対応するため、財政調整基金を取り崩している状況です。

今後は、「第4次周南市行財政改革大綱」に定める取り組みにより、健全で強固な財政基盤の確立を図ります。



交通教育センター整備事業



予算額 **6,274万円**

老朽化した交通教育センターを建て替えます。

主な内容

- 交通教育センター建設工事

財源内訳

その他	6,274万円
-----	---------

問合せ 生活安全課
☎0834-22-8240